

学校だよりBIG TREASURE

大きな宝

《学校だより NO. 6》

2026年 9月1日発行
栗東市立大宝小学校
児童数488名(9/1 現在)

まな あき 学びの秋へ ～豊かに「つながり」自他の価値を見出す学びを～

校長 松濱 秀幸

長い夏休みが終わり、元気な子どもたちの声が学校に帰ってきました。暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続いています。季節の変わり目であるこの時期こそ、子どもたちの体調管理に気を配り、日常の学習や秋の行事に取り組んで行きたいと考えています。

学校では、9月からの学習や様々な行事の中で、子どもたちどうしの「つながり」をキーワードに対話的・協働的な学びを進めていきます。その中で、自分の良さや友だちの良さに気づき、お互いに高め合う授業づくりに努めたいと考えています。

また、子どもたちの生活リズムの乱れが見られる時期です。毎朝決まった時間に起床し、朝食をしっかりとることで、心身の準備が整い、学校生活への集中力も高まります。夜も決まった時間に就寝する習慣をつけ、テレビやスマートフォン等の使用は時間を決めて控えるようご家庭での声かけもお願いします。

登校前の持ち物の確認や簡単な会話を通じて、安心して一日を始められる環境づくりも大切です。ご家庭と学校が連携し、子どもたちが安心して、元気に学校生活を再開できるよう、ご協力をお願いします。

栗東西中学校区

子育てNextプロジェクト

～「ありがとう」を伝え合おう～

右のポスターのように、栗東西中学校区の中学校、小学校、園は、『ありがとう』の言葉と気持ちを大切に、子どもを育てていこうという共通の認識のもと、各校、園で取組を進めています。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、このプロジェクトの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

特に、本校ではペア学年交流等の子どもどうしの関わりや、自分たちで自分たちの学級や学校をつくることを大切にしています。その協働的な活動の中で、子どもの気づきや持ち味が発揮できるようにして、「ありがとう」と感じたり伝え合ったりする機会を大切にしています。



家庭・地域・園・小学校・中学校の
かてい ちいき えん しょうがっこう ちゅうがっこう

たくさんの支え合う力を子どもたちの成長のために
ささ あ ちから こ せいちょう

